

1975年北海道大学ネパールヒマラヤ  
学術調査隊 - ヒマラヤの農林業  
における生物学的基礎調査

The Hokkaido University  
Agrobiological Trips to the  
Nepal Himalaya 1975

阿部日記

1975年

東京との時差 2時間

Aug. 7. 12:45 Aij India n2羽田発, HongKong中継  
 18:40 Bangkok着 クラビエのHotel  
 Manhattan n 宿泊 クラビエの部屋で270バニー  
 (1バニー15円). Bangkokは日本人が多く、うん  
 ちがた。

8 13時 Royal Nepal Airline n2 Bangkok  
 発, 15時迄 a Kathmandu着. 途中  
 バンコクでエシエと思われる地域は一面の洪水  
 はんぱん. 空港には沈没(田中)の古船と  
 くら. 90の高塔は同じ飛行機が到着  
 して40分 Import licence が必要とかい  
 う。取得出来ない. 仕方なくクラビエにて田中氏か  
 ら Himalaya Bhawan n入る. 田中氏と  
 くら. 田中氏に2000円. 7日前にほとんどの  
 葉っぱをい. 自転車を一週10日借りた。

Kathmandu 9. (土) ネパールの土曜日は休み. 月曜日はwork day  
 Nepal航空事務所に行き帰りの飛行機の予約  
 をしよといたが10月10日までの20日以内ま  
 といふ. 予約を完了。

10 (A) 空港の税関で荷物を受取42000円  
 Kathmandu 4箱を同じでcheckして500円か. 税関  
 import licence が必要とかいふ.  
 Himalaya Bhawanの森や近くの道路沿  
 はモクシ塚のよりに土を上げながらあるか  
 二か所はどろろ Bandicota Nepalensisの  
 多いし. 路肩のものは人糞である所では  
 に入り込んで20日ほど. 人糞の上  
 土が盛った.

11 (A) 外務省に行き Import licence をもらう.  
 Kathmandu 田中氏 via extension E するかの紹介状  
 をもらう. ネパールの税関は11時迄開通  
 はない. 紹介状は税関に行くと11時開通  
 はない.



of the river Bagmati. Many wild animals such as spotted deer are found in the sanctuary. Gokarna forest is 姫草樹林で大木も無い。玉桂の樹場があるところから古い時代の Kathmandu Valley の植生を多少のと思わせる。chital や Rhesus monkey が多く、動物相も本来のこの付近の植生を多少のと思わせる。林内は暗く、林床植物は非常に少ない。また、落葉も少ない、よって腐植土層は殆んど無し。この forest の周囲は過放牧のたけ裸地化された貧弱な植生があるのみ。平地は水田。

昼は雨が夜は雨  
7月7日。トバサシ1匹の早鳥

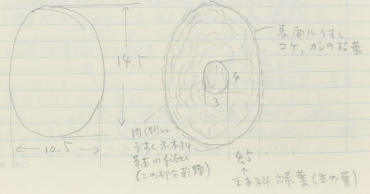
17(B) Kathmandu ↓ Godavari Himalaya Bhawan 下りの峠越下ブツ中にて B. indica を1匹捕獲、ハゲニ20 Godavari の研究所設置。Dr Rana 氏、Sharma 氏と共に Godavari に暮らすことに Camp. 姫草樹林 (林床灌木少、落葉少) に trap 20 set 夜雨

18(A) Godavari 木が乏しく、枯れ木に行くと後、寺裏下部に trap set. 姫草樹林 thicket (放牧地) に7月26日 川岸灌木地に25日 set. 11時にも落葉少 昼晴。夜小雨

19(B) Godavari Horticultural garden 横石垣沿いのワナにて Rattus rattus 1匹のみ。地がワナは R. rattus ad 子1匹は成体か。捕獲はかじりかき2匹の breeding 状態の不捕獲 1700m 川畔に13日。1800m 道路沿いの bush に 18日、1830m 天然林の (林床灌木少、落葉 0~1cm) LUCKY

1に9日。1900m 天然林内(灌木少、落葉少)に10日 set. Temple 周囲に5日 set 飯場内にて2日 昼曇。夜雨 寺の下の池に Indian Pond Heron (Ardeola grayii) 20(B) 1900m 落葉天然林林床草に R. fluscus Godavari 1匹。Temple 飯場内にて R. rattus nitidus 3匹捕獲 他は0 1900m 落葉天然林(林床枯葉少、落葉少0-1cm)内にて20日、1980m 高圧線下(伐間地)灌木、草に15日、2100-2200m 高圧線下(伐間地)カシ、シヤツサ 林伐間地、灌木、草 dwarf bamboo bush, 草生地(一部落葉 humus)に19日セット 1950m 附近カシ、シヤツサが出現し、2100m 付近以上で多くを。2200m 附近落葉灌木密集地(伐間地)には落葉、草の humus 層が深くこの中の水たまりにカシが多い。Soriculus か? 昼間は晴又は曇。

21(B) Godavari 2200m カシ、シヤツサ伐間地林床灌木密集地、シヤツサ、落葉厚く落葉に2cm の竹の Mus cervicolor 1. R. fluscus nitidus 幼体1匹。2150m 同様に伐間地、シヤツサ、灌木(シヤツサ、カシ等)落葉、humus 少、R. fluscus nitidus 幼体1匹。他は0 Godavari 山頂(2700m)に設置。頂上近下 2700m 附近、カン林(2本)内灌木、草密集地、humus 厚、アサギツツ草等。カシ幼木の根上110cm の枝に1回(1年)の幼子を2匹の葉を捉え 始末



LUCKY BAN (A)





28(木) 水溜池のワナ R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 4,  
Sheopri 歩道沿いの S. candidus 1, S. nigrescens 3,  
R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 5 粒採取

2500m 水溜池沿いの R. (生捕1)  
Gomba 畑沿いのワナ 2 中 9 (生捕1)  
2460m カニ以外の木葉採取地 水溜池沿  
に 1850 set. コニハ内の生捕 2 匹  
30 時頃 雨 雨 雨, 視 Gomba 内ワナコ  
コニハ 2 粒採取

29(木) Gomba 内 R. Mus cervicolor 1, K. Gomba 周辺  
Sheopri 溜池 木 2 匹 R. Mus cervicolor 1, Rattus  
~~flavescens~~ 1, Soriculus nigrescens 1  
2500m 水溜池 R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 3, R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 1.  
2460m 流池水溜池 R. S. nigrescens 1, R.  
~~flavescens~~ 2 粒採取

2460m 川沿い 木葉採取 木葉をどの葉とて  
林床は 0 粒採取。 — ワナ 2 匹  
Gomba (2500m) 畑 田ワナ 2 匹 8 匹  
歩道沿い 2 匹 (生捕1)

30(土) 2460m 流池沿い (林床) R. S. nigrescens 3,  
Sheopri R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 4 (中 1 粒 4 枚, 採), 2500m  
歩道沿いの R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 1 (2 粒 4 枚, 採)  
他は 0  
流池沿いの部分はワナ用 EC, 林床の落葉は  
多い所 2-4 cm humus 2-3 cm. 2 枚の  
落葉 9 枚の所もある。 一般に S. nigrescens は  
litter や humus の多い所に集中している。

2080~2160m (南半面 滝上) シヤクナ  
その他木葉採取 2 次林 (溜池林) 林床はセル  
ビヤシ 落葉散ら humus をシヤクナ  
— 30 匹 (生捕)  
2500m コニハ 畑田ワナ 2 匹, コニハ内

生捕 4 匹  
31(日) 2100m 溜池 2 次林 (林床落葉 散ら, humus 散ら  
Sheopri 人の足, コニハ) の R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 1, R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~  
↓ (暖向) のワナ 0  
Kathmandu 2500m Gomba F1 Kathmandu  
畑田。

1700-1800m Sheopri 南斜面 農耕境界上  
伐採跡 2 次林 中の谷沿いの 2 匹 ヒット  
溜池 (木葉採取), Mexican weed, 空生地 落葉を  
Gomba 畑田の porter がコニハのワナに 2 匹, Gomba <sup>Kathmandu</sup> ~~flavescens~~ 2 匹

9月1日(日) 1750m 流池 Sheopri 南斜面, 谷沿いの  
Kathm. R. <sup>niviventer</sup> ~~flavescens~~ 1 粒採取。  
Sheopri の荷物は Pampa の porter を 3 匹  
2 下り, 昼中に荷物は到着  
夜は Pampa の 人の 2 匹 採取, コニハ  
4 匹 コニハ 1 匹 採取して 2 匹  
ワナ 1 匹

2日 辻井 飯 長 1 匹 3 匹 14:45 分 Kathmandu  
Kathm. 定宿着 Tawa 氏が 車に 乗 せ 2 匹  
植物 採取は 採取 3 匹 2 匹 荷物は 2 匹  
所も 問題 無し。 木 葉 採取 2 匹 木 葉  
を 2 匹 採取 4 匹。 木 葉 採取 2 匹 は 2 匹  
5 匹 採取。 3 匹 は 2 匹 採取 2 匹  
5 匹 採取。 夜は Kathmandu forest house  
横の restaurant 2 匹

3日 九尾の家の 2 匹 植物 採取 の 人が 昼 晩 まで, 夜は  
Kathm. 休養。  
Banewar の Bagmati-River 河畔 2 匹  
(水田と川との間) の ワナ 6 匹, 人家 横 上 2 匹  
ワナの ワナ 2 匹, 田中 家 周囲 の 人家 横  
6 匹 4 匹 採取

4(木) 田中 家 横 上 2 匹 畑 田 の bush に 2 S. murinus  
Kathm. 1, Bagmati 川 畔 に 2 S. murinus 2  
ワナ 1 匹

植物班、外務省、immigration の checking passport の申請、日本大使館、大使公舎の伺う。  
午前中小雨

Sep 5 (日) 8:30 PM の演劇 (65 Rs) をした後 Trichuan 大学  
Kathm. へ行き植物研究室、動物教室を訪問。Dr. Mujipin  
(Tribuvan Univ.) へ会い、教室の標本を見せもつ。未だ之後、各地  
の標本の同定を乞ふ。11時同位にかつて  
名前をつける。Rattus, ratius, R. fluscocens.  
Bandicota indica, Mus cervicolor,  
Soriculus caudatus, S. nigricens,  
Suncus murinus. などかゝる。

6 (土) 今日 Sherpa 2人 (Pempa, Nima Nwab,)   
Kathm. Kitchen boy 2人をせとす。  
(Goharna) Goharna に行き trap set. 広葉樹森林  
と湿地帯の林縁に沿つて 40m set, 林内  
掘草を多く地表採出部多し。

7 (日) Goharna forest の水をはら。今日は1日中  
Kathm. 激しく雨が降り、雨期5月時期とは鬼之なり。  
(Goharna) 天候である。

8 (月) 又競争箱では今日の雨期あけといふことであるが  
Kathm. 午前中は曇り、小雨の夕方が晴れ、夜は快晴  
程雨本朝へ行き、翌日の標本採出時の準備を  
開いた。外務省へ送りという。外務省は行き  
Shrestha 氏に会い事情を聞くと、調査終了  
時の report を事務省の section of planning  
提出し、そのあと標本採出しの arrange  
をしてもらふという。  
夜は雨止、大層氏と共に Utce に夕食。

9 (火) 本日は Pempa と中絶線示かかたの2人でせといふ  
Kathm. Portor を水倉邊に荷物の大半を搬入 Trisuli  
へ行く。Pempa が荷物、荷物と Portor は

定期バスで行った方が安いといふこと。そのために  
ある。

Sep 10 (水) 朝 10:30 ジョージン 2 隊員 7 名 Trisuli へ去  
Kathm. Banaju, Kabanu, Trisuli まで。各 ten  
↓ Pasport check あり。先着の Portor 達 4  
Betrawate Trisuli のすぐ手前までバスが来るとして  
途中の 1 湖。お水お水が Trisuli 右邊  
にあり。Betrawate の学校へ近い  
Camp. 付近一帯は水田で水田の畔の  
小池に Anolis の卵 28 個。標高 700m

11 (木) Mus cervicolor 1, Suncus murinus 2.  
Betrawate 小池に mongoose 1 匹み。7cm x 4cm, 5g, 八割  
蒸温。温度高く不快  
水田。川畔に 17。人家周囲に 3。人家田の 9 匹  
11 時外に灌木。草がかわつた。川畔に  
13 匹み。川畔に 2 匹み。  
今日は先ず川畔の両方にのみ。

12 (金) 人家周囲田畔に Suncus murinus 3, Rattus ralleo  
Betrawate 4 匹 (3 匹み) 1, 人家周囲に 3 匹み。Rattus ralleo  
(2) 1, 水田畔に 2 Suncus murinus 1, Mus  
cervicolor 1.

人家まわりの 2, 水田と川の向うの畑に 10 set  
蜘蛛室の壁に 2 匹の細長く毛が長いハチの巣  
光見一匹、木の枝が水さかたの向うに  
人家近くの川畔に 13 匹み 2 匹  
雨は一晩は降り止んだ。

13 (土) 人家近くの川畔に 2 Suncus murinus 1 匹み  
Betrawate 8 時過ぎ Betrawate まで 12 時過ぎ Ramche 着 (1000m)  
↓ Portor 等は待つとあかす。1日中雨が降り、降  
Ranche 雨激しく降る。Ranche の茶店には 30 人、学  
か泊つて居る。茶店エの 30 人で 2 人、人  
ワゴに 17 x 20 台、13 台、2 台、2 台、2 台、  
Ranche のグフエに 10 口をた。夜もほげしく降る。  
(17 x 4 台) 水田は標高 1400-1500m まで、水  
は 30 x 2 台 (17 x 4 台) 水田は標高 1400-1500m まで、水

Sep 14 (日) ショクビエ人家横 brushにて *Suncus* 2, *Mus* 2  
 Ranche *Rattus rattus* (腹白) 5. 1850m  
 ショクビエ畑あぜの9位, 1900m 豊耕地上段  
 上のジャフナゲルカシ (*R. semicarpifolia*) 葉の  
 濃木2枚材, 歩道沿いの18 SR set, この濃木林  
 はコケが多く, A層のものが多い所がある,  
 ショクビエ畑2枚

15 (A) 1850m ショクビエ畑, カカ横 brush 12 *Mus*  
 Ranche *cervicolor* 1, *Suncus* 1. *Mus* は比較的  
 乾いた石垣, のりをはりてとわが *Rattus*  
*rattus* は濃ったジャフナゲルカシ等の濃木地  
 への1900m 附近ジャフナゲルカシ等の濃木地  
 への *Soriculus nigrescens* 1. この附近の  
 濃木地には litter やコケの多い所があり,  
 苔の凹所や濃木茎まじりが多い。コケや litter の  
 多い所は 6~8~10cm 程, humus 5~6cm, 赤い  
 黒色土 12~20cm ほどある。但し全面にあるわけは  
 なく, 斜面凹所のところが多い。急斜面や  
 凹所は litter, 黒色土とも存在をなく赤土が  
 ある  
 1800m 人家, ショクビエ畑周囲に 17 SR set

16 (A) 人家, ショクビエ畑附近にて *Suncus* 1,  
 Ranche *Mus* 1, *Rattus rattus* 1.  
 ↓  
 Dunche 朝晴。8時出発 Bokajunda にて昼食後  
 Dunche 着。小雨。Panchat の建物裏に camp  
 ショクビエ畑横石垣, トビコロ畑収獲後の草花横,  
 12 SR set 花如雨 (2000m)  
 ヤウカシラ2羽

17 (A) ショクビエ畑, 草地横に *Rattus rattus* 1, *Mus*  
 Dunche *cervicolor* 1 種集。仔やその他のもも  
 created bulbil, 15 SR set 1950m,  
 3 km south of Dunche 林内歩道沿いのワ  
 40 SR set. この附近でも凹所には litter 多く  
 humus 厚く, ショクビエ畑の *Soriculus* のものと

鬼ヶ畑 tunnel が多い (litter の状況は Ranche  
 上の場合とほぼ同じ)。前地地にはハコバシ, 2羽  
 季鳥他は石壁樹木林の地エムはコケ多し  
 今日はお雨の後はヒビ雨を  
 ヤウカシラ, ヒワ, ショクビエ3羽2羽

18 (A) 3 km south of Dunche の林内歩道沿いの  
 Dunche *Soriculus nigrescens* 3, *Rattus flavescens* 1  
 種集  
 キセキ, ヤウカシラ photo. Dunche の  
 ショクビエ畑, 人家周囲, 歩道, 石垣沿いの  
 25 SR set (2000m)

19 (A) 畑, 歩道沿いの石垣に *Soriculus nigrescens* 2,  
 Dunche *Mus cervicolor* 2, *R. rattus* 2 種集。  
 ↓  
 Syabru 8時30分標本採集後 Dunche 出発。建設中の  
 果樹園の中を運つて一急谷まで (1800m) 下り  
 再び対岸の斜面を 200m ほど登り, 40の両岸  
 には濃った高木林があり, ショクビエ畑  
 5段ほどを 4200 歩は腹の baby を抱  
 ていた。11時頃虎根をまわった所の Bhardga  
 への昼食, 12時半頃出発して 4時ほどに  
 Syabru (2200m) に到着。途中 2000~2400m  
 附近に植物の写真を撮る。Dunche の  
 Syabru の人家附近のショクビエ畑畔草の brush  
 に 11 SR set. Porator の到着が早くともたぬので  
 充分です。

20 (A) 天気のよ, 今日には中小雨の停滞日。カサコ  
 Syabru の一羽, アリスイロ一羽 photo. ヤウカシラ 1羽  
 Syabru 北側 hangton の一支流の谷まで下り  
 (2000m) 草地に 4位, 2200m Syabru 部  
 ショクビエ畑, 人家石垣に 5 SR, 人家内 4位,  
 2200m 部陸南部小川周囲に 10位, 歩道沿  
 濃木草地に 15 set  
*Dremomys* と鬼ヶ畑のリスを 2









Oct 2 (木) 伊弉烟紫團の林に *Soriculus nigrescens*  
 Syng Gamba 4 (中2雄<4小雄) *Rattus rattoides*? 1,  
*Pitymys* 1, 焼跡地に *R. sha* 2,  
*P. sikhimensis* 1, *S. caudatus* 2, *R. <sup>sp</sup> sikhimensis* 1,  
*S. nigrescens* 5, *Mus* 2, モミ巨木林に  
*S. nigrescens* 2, *P. sikhimensis* 1, 人家周辺  
 に *O. roylei* 1, *Rattus rattoides* 2, *S. nigrescens* 2 採集  
 今日1日中晴れ時々ガス, 伊弉烟紫團の5位,  
 焼跡地とモミ巨木林に22位也

Oct 3 (金) 伊弉烟紫團の林に *P. sikhimensis* 1 (小雄採)  
 Syng Gamba *S. nigrescens* 2, 焼跡地とモミ巨木林(小池  
 あり)に *Soriculus baileyi* 1, *S. caudatus* 5,  
*S. nigrescens* 2, *R. sha* 2. 採集  
 焼跡地とモミ巨木林に5位, モミ巨木林(林床  
 乾燥)に5位を占め一部を占め 22位, 伊弉烟  
 團の1位也  
 モミ巨木林上段調査 letter 25 雄3±30< 雌2±30<  
 ヒツジ一匹殺後にはヤンアツペー, 1日中晴れ  
 朝り曇りあり。採集場所 伊弉烟紫の写集採集  
 伊弉烟紫1段2m位のヤンアツペーの毛細管 ツイツイー。

Oct 4 (土) 焼跡地とモミ巨木林に *S. caudatus* 1,  
 Syng Gamba ↓ モミ巨木林に *P. sikhimensis* 2, *R. sha* 3,  
 Gosainkund *S. caudatus* 2, *S. nigrescens* 7. 採集  
 8時半に Gosainkund n. 3800m 附近の  
 谷を平気は降り晴れは小で快風。7年前とは  
 全く異なり全く霜水なく。高山病患者全くなし  
 午後1時30分 Gosainkund 着  
 宿場周辺にチキウサギ7+8位, 29位7+20位  
 也

Oct 5 (日) 岩場周辺にチキウサギ(*O. roylei*) 2, 岩場を2+  
 Gosainkund 7+12 *S. caudatus* 7, *S. nigrescens* 7,  
*Sorex* sp. 1 採集. *Sorex* と *Soriculus* とは同じ  
 (1日中晴れ) *Habitat* (小虎属) 2 採集.  
 小屋附近には *O. macrotis* が1匹採集の日也

対岸(北斜面)にチキウサギ7+7+7位也

Oct 6 (月) 7+0  
 Gosainkund 湖岸周辺は *O. roylei* が(谷と下谷)  
 対岸には *O. roylei* と *O. macrotis* が  
 同じ場所(湖岸の20~30m上)に生息  
 東側(西斜面)の一帯高(4300m)斜面  
 には *O. roylei* (*caud.*) と *O. macrotis*  
 (*subad.*) が全く同じ *habitat* で生息, 同じ  
 草地で採集してその差を観察。22位7+9位也  
 南斜面には *O. roylei* がのみ。生息も  
 多いが。西斜面, 北斜面, 木部には  
*O. roylei* と *O. macrotis* が一部存在している  
 が。前者の数が圧倒的に多い。北斜面には  
 雪が残る。気温は低い。22位7+9位也  
 チキウサギ。ヒンズイグサ属, 草の葉の長さ  
 ハンギン草より2/3程度の長さ。40センチ  
 くらいのも。20センチのもの。ハンギン草より  
 葉は厚。腹白。尾は暗色。尾端の  
 ハトリ色。2匹はハンズイグサ属

Oct 7 (火) 湖東岸西向斜面(4300m)から場所は *O. roylei* 2  
 Gosainkund ↓ 採集.  
 22位チキウサギ(両)雪。2匹チキウサギ一雨雲の  
 種。7時半に雪の山(4500m)に2匹 8時  
 の雪のヒール(1988年)3200m(5時)  
 にはチキウサギ2匹と2匹。2匹はチキウサギの  
 採集か場所は草地で *dwarf rhododendron*  
 が有り程々の *open ground* 也。チキウサギ  
 チキウサギと2匹のチキウサギ。天気は曇り  
*Juniper* の林を占む。3400m 家の谷で雪。  
 29位附近はチキウサギが多い。Cave 附近  
 には小洞。Cave をもつと底葉樹林になり  
 かなりヤンアツペー。カエデもチキウサギの林と  
 チキウサギの径800mほどの木も混入。  
 3時半に Thale Pati 着



alp のトケの草 (赤い実の草) × ヤの根の高さ  
30cm ほど 浅木中の 11 位, シヤナゲ  
(Rhododendron 2~3m) の浅木林は 750 セツト

Oct 8 (土) alp のヤの根の浅木林に R. nichimensis 3,  
Thale pati S. nigrescens 2 あり。  
3450m 西向斜面 Rhododendron moss  
forest に 20 位, 東向斜面 3500m  
Juniperus moss forest に 19 位 セツト  
岩場は 2 枚のヤの根の用 7 ナ 9 位 玉手前中にかい  
年頃の 2 枚 O. roylei 挿集, 7 ナはさのま  
alp のヤの根の浅木林の土壌 草層 20-30cm  
3450m 厚さ 30  
3450m Rhododendron moss forest の土壌  
樹高 7m 24-6m 厚さ 4cm  
Juniperus forest 2445. 厚さ 5cm  
(0-8m)  
1 日中曇り 14 時 2 雨

Oct 9 (土) Rhododendron moss forest (3450m) に  
Thale Pati S. nigrescens (2), S. candidus (3),  
R. eha (2) 岩場 7 ナ 9 ナ 用 7 ナ 4 位  
O. roylei 1 挿集 Juniperus moss forest  
2 ナは 2 ナ 4 ナの run way が 2 ナ 4 ナ  
か 0.  
ヤの浅木林の地 11 位 セツト  
樹の石の根の 1 口 島のヤの根のまの 1 枚 2 枚  
岩場の 2 枚 右は 2 ナ 3 ナの 1 枚 挿集

Oct 10 (土) Thale Pati S. nigrescens 3,  
P. nichimensis 1 挿集  
7 時出発 右のヤの根の中より下  
2980m 附近のヤの根のヤの根の 2 枚 挿集  
2 枚 初めに O. semilanceolata が出現  
2 枚 下から 2 枚 ヤの根のヤの根の 2 枚 挿集  
Quercus の 根 (Lopping 2 ナ 2 枚) と  
2 枚。12 枚 Khurumsan 着

浅木林。掘り口。5 時 7 時 11 時 11 時 11 時 11 時  
南向斜面。常緑広葉樹林 (牧草地)  
(Hickety) に 25 位, 人家 岩耕地周辺に 11 位  
セツト

Oct 11 (土) Khurumsan 人家 岩耕地周辺に 12 枚 Muscivora 5 (中 11 枚 4 枚)  
挿集。S. nigrescens (3), (人家の石壁の下の  
2) S. nigrescens 1 枚 挿集 (4 枚)。  
常緑広葉樹林 (牧草地) に 2 S. nigrescens 8  
R. rattus (腹白) 1 挿集  
Most of the area are covered by low herbs and  
litter is very scarce. Some parts of grounds  
(base of trees) are covered by mosses.  
Relatively thick (4-5cm) litter and moss layers  
are localized only at the bases of trees.  
常緑広葉樹林 (牧草地) に 10 位, 人家 岩耕地 (green  
vegetable) 周辺に 8 50 set

Oct 12 (日) Khurumsan 常緑広葉樹林 (牧草地) に 2 R. flav. 2,  
人家 岩耕地周辺に 2 Muscivora 2 (中  
1 枚 4 ナ 1 枚), S. sp 1 (S. candidus 2 ナ  
セヤ大型 5 枚) S. nigrescens 1 枚 挿集  
7 時 出発 晴天の夜に 5 時 下り Gul Bhanyan  
に 2 登る。木の葉の 1 枚 岩耕地 巨大  
3 時 半 Pati, Bhanyan 着 途中 草虫の 挿集  
5 1 枚 下の 草 (1 枚) Treking  
Pati Bhanyan 2 1 2 人家, 草園 周辺に  
15 位 set, 1/2 2 枚。壺の 越した 下の 実  
挿集

Oct 13 (月) Pati Bhanyan 7 時 出発 下の 2 ナ 2 途中 3 枚 挿集 (草虫)  
11 時 過ぎ Mulhakhan 2 登る, 2 時 半  
Sundarjan, 2 ナ 1 2 2 人家  
↓  
Kathmandu トロツトを 越して 2 枚 下の 2 枚 4 枚 Kathmandu  
に。Pati Bhanyan 2 1 2 R. rattus (腹白)  
(subad) 1 枚 挿集 4 枚 下の 2 枚 岩耕地 着  
7 時 5 時 過ぎ Himalaya Bhanyan 着

靴は東京飯店の中口料理をたつぷりくら  
外には雨かきこいど乾いた感じの所。  
かサインのてり、御中ネオがつかえ、人はきれい  
な服を着て綺麗くくり出し、寺には学ヲを行な  
てい

Oct. 14 (R) 1日休養、標本整理

Oct 15 (W) 電物、空母に事務科へ行リ、報告書の最終者  
提出。標本持出の certificate 申請 にお預いお  
(下河原氏)。

Oct 16 (F) Goharna の新白萩草のヒク=ツツ。焼肉  
の店名。暖い空母に事務科へ行き、申請書  
を大河原夫人に手渡す

Oct 17 (S) 買物

Oct. 18 (S) 8時起床 ミニバスにて Hitaura へ。 Hitaura  
Kathmandu 北の方にある Bhaince への水車  
↓ water-mill の近く STD, 瀧木地は 10 段  
Bhaince 暗水  
(660m)

Oct. 19 (M) water mill の近く R. <sup>nitida</sup> ~~nitida~~ 1, 道路沿  
Bhaince 11 軒の瀧木地は *Suncus murinus* 3.  
東の方の支流沿い道路脇、瀧木地は 5.  
河畔 *Gnathypus* 12 set  
一日中暗水、乾草

Oct 20 (A) 道路沿い瀧木地は *Mus cervicolor* 1,  
Bhaince 河畔瀧木地は *Mus* 1, *Suncus* 3.  
11 軒中暗水、新蜂、蜂、糞虫、碎葉  
河畔岩、瀧木地は 10 段

Oct 21 (S) 河畔瀧木地は *Mus* 1, *Suncus* 2  
Bhaince 河畔ジープは *Adhalar* へ。1968 年 6 月 10 日 陽気  
↓ はまかつ。ジャングル林縁 材木屋敷は 27 段  
Adhalar せつ。蜂、碎葉、晴 32°C

Oct 22 (W) 林縁 材木屋敷は *Suncus* 1, *Mus* 1.  
Adhalar *Fumambulus pennanti* 1 子鼠 *Fumambulus*  
子鼠。 厚 48cm 高 7cm

ジャングル内には bamboo rat の穴と掘りた  
掘りたの穴より mole-hill の跡も土がまじ  
(空室)

晴  
ジャングル内 (camp E 1 西 3km) は 20 段。  
Camp E 林縁 材木屋敷 3 段。1/2 用木の上 2 段  
セト bamboo rat 用 1/3 ハヤミ 2 段

Oct 23 (F) ジャングル内は *Mus* 1, *Suncus* sp (大粒) 1,  
材木屋敷 *Suncus murinus* 1, 1/2 1.  
ジャングル内は 40 段, bamboo rat 用  
1/3 ハヤミ 2 段。材木屋敷 2 段

Oct 24 (S) ジャングル内 *Mus* 6, *Suncus* sp (大粒) 2  
(中 1 粒は + 小、豆音あり結)  
ジープをせいの Birgany 買物  
ジャングル内は乾燥した量の踏草があらため  
てあらためた土は litter 厚は 5cm 厚し、緑土

Oct 25 (S) ジャングル内は *Millarodia melitara*  
Adhalar *Mus* 3 標本 *Antelopus* 1, *Suncus* sp. 1.  
↓ 9 時のバスにて外へ 2 日 8 時 30 分 外へ 2 日 8 時  
Kathmandu

Oct 26 農林省 Entomology Section (Khumaltar)  
にて標本持出の certificate をとり、荷物一部を  
アタンに送る。

Oct 30

Oct 31 AM. 8 時 Kathmandu 北 R.N.A. へは Banahok へ  
Kathmandu Banahok は大流石にて御中水地は 1。  
↓ First Hotel は 1 日。

Banahok  
Nov 1 Banahok A.I. へは 車 7. 9 日 10:40 着 通関後  
↓ 車  
車

羽田東急工場入りのバスに酔った

No. 2  
↓  
不機嫌

1967 Shtil'mark, F. R.

A study of the population dynamics and mobility of the chipmunk (*E. sibiricus* L.) by means of long-term observations on marked animals. K. V. Arnoldi (ed.) "Ecology of mammals and birds" pp 39-49

1963

On the ecology of the siberian chipmunk (*E. sibiricus* L.) in the stonepine forests of western Sayan.  
Zool. Zhur. 42(1):92-101

1966 ~~Kirch~~ Kirichurskii, A. A. <sup>penning note</sup>

Biology of *Alticola* (*Aschizomys*) *macrotis* Roddick in the Kolyma Highlands. Bull. Moscow Soc. Nat. Biol. Sci. LXXXI(1):43-50

Dr. Andrzej W. Ruprecht. (Mamm. Res. Inst.)

Taxonomy. Bats, shrews (mandible measurements)

Ecology

Dr. Tadeusz Buchalozysk (Mamm. Res. Inst.)

Daily Rhythm of rodents, census method.

Dr. Zdzisław Pucek (Mamm. Res. Inst.)

Dr. Michalina Pucek — Water contents of Brain  
shrews — morphology, ecology

Dr. Barbara Rzebiń-Kowalska

Fossil insectivora

Dr. Krystyna Adamczewska-Andrzejewska  
(Inst. Ecol.)



和田一雄 本心-心 西野 本心-心 ガンジ, 2243  
 本心-心 ガンジの日記 1976年5月-1977年  
 3月-杉の子迄.

田端英雄

① 医学部 (Department of Medical Plant, Botanical  
 Survey Section) の連絡

② 外務省

本心-心の連絡先をリストアップ

Prof. Dr. D. R. Uprehi.  
 Prof. Warayan Khattar  
 Prof. Yugal Krishna Malla  
 Zoology Block  
 Tribhuvan Univ.  
 Kirtipur, Kathmandu

古達利博 1929-4月迄

本心-心大使館 03-444-  
 7303-5

岡田 (三ツ輪航空) 281-3216 (東京214-0451  
 新大塚ビル1階事務室  
 (新大塚))

Dr. Jochen Martens Institute für Allgemeine Zoologie  
 Post Johannes Gutenberg-Universität

田中 休電視 = 464  
 3017年4月26日迄 本心-心 水園研 樋口研  
 Himalaya Bhawan Tel. 14206. P.O. box 509, Kathmandu.  
 Singa Darbar の東裏. Dhabar Mahar と此の Banoshwar  
 平屋 70m<sup>2</sup> 3室 バス トイレ.  
 家賃 750Rs/月. Tel. 60Rs/月. 電気 20Rs/月 水道 15Rs/月  
 (最低) (最低) (最低)  
 計835Rs/月 (R=200円)

Passport no. E. 1642006

July 26 '74

幕屋  
 下の計  
 合計 50

会社  
 又コミ  
 朝日-HTB  
 の連絡

出版社

一般

交通

建設会社

道路-松林

	18/日	12/日	12/日
7/1 +10人4人用	12As	700-800 Rs	
5/1	8	450-550	
5/1 sleeping bag	6	450-600	
Nylon	5	350-400	
Air mat	4	125	
3/12 jacket	5	600-650(法)	

21日 8月 7日 AI 12:45  
 バンコク 309 18:15

8月 RA-402: 13:00  
 14:40

8月 全 50 8:40  
 10:10

神谷 (東京)  
 044-811-8656

Kishio Maeda  
 55 Laboratoire de Zoologie  
 Muséum National d'Histoire  
 Naturelle, 55, Rue de  
 Buffon, 75005  
 Paris,

北大農学部

田中 聖一, 大田 泰四夫, 知 孝雄, 七戸 長生, 挑 野 伏 次 郎  
新 谷 融, 谷 口 信一, 小 園 隆 祺, 川 瀬 清, 柴 草 彦 悦

北海道ニケ村小北場 豊平区中ノ島

石 田 昭 夫, 佐 井 利 信, 柳 庭 鉄 之, 尾 崎 崇 志, 大 屋 英 延,  
高 山 正 雄, 伊 藤 和 雄, 河 村 博, 新 谷 康 二, 柴 田 尚 志,  
柴 田 瑞, 小 泉 進, 西 野 一 寿, 橋 本 進

林 城 道 延 瑞 札幌市豊平区羊ヶ丘1

前 田 満, 五十 嵐 三 吉, 幸 畑 勤, 柴 田 英 泰, 鮫 島 博 一 郎  
松 浦 克

華 学 部 060 北 區 北 12 西 6

有 田 隆 一

060 中 央 大 道 西 5 山 内 町 豊 華 北

鬼 澤 禮 次, 奥 山 四 郎

札幌市中央区大通12丁目 北海道旅友会 斎藤泰雄

Mr. DHANA BAHADUR BASNET  
(P. D. O.)  
District Panchayat Office  
Rasuwa, Dunde  
Bagnati Zone  
Nepal

ヒマラヤ打合せ

Mar. 16 (2) 1974

杉 崎 園

辻 井: 東京での会合の説明

主 題

「ヒマラヤの環境利用における生物学的基礎調査」  
ヒマラヤ検討委員会

地質関係のヒマラヤシンポジウム予定  
カマンズヒ研究部開設問題) 在 田

定款関係, 東北岩試 音 隆 聖 田 氏

昨 11-12月, 12-1月 2ヶつたものR4の情報

シエールバ 20 Rs 会 事 任 (登山)  
15 Rs " treeking 長期 (4ヶ月)

Kitchen 15 Rs  
porter 15 会 事 別  
" 10 会 事 任 母 期

シエールバ 360 Rs " 1日  
Kitchen 12-15 (18)

登山  
チヤコハン中 1人 1日 10 Rs  
=7-1 25-30 Rs

1人合費  
20Rs x 70日 x 4ヶ月 = 2800 Rs

7-2 25  
1日 1人 20 Rs 自 飲・外 食 70% 2

1 dollar: 11.7 Rs  
300 yen

却 戻 代 1 月 100 Rs 2 割 戻 200 Rs 8 月 1600 Rs

过并 3月中に帯衣高大

4月6日

隊員8名 現地2名 2名 12名 2名 10名 1名 Sherpa 1名  
Kitchen boy 1 Porter 5名 加→C.V.のE.F.

Sherpa	<sup>全事件</sup> 17R x 30 x 3月 x 4組 x 30日 = 183,600	183
Kitchen	15R x 30 x 3月 x 4組 x 30日 = 162,000	16.2
Porter	15R x 30 x 3月 x 4組 x 5人 x 30日 = 810,000	64
	合計	
		<u>1,155,600</u> 93.33

都市滞在費

インド (10日) 30IR x 10 x 8人 x 50円 = 120,000  
 カマンス (30日) 20R x 30日 x 10名 x 30 = 180,000

費用  
 (準備) + 1名 20円分 = 36,000

合費 336,000

キャンプ

全 Sherpa Kitchen  
 10R x 30日 x 3月 x 10名 x 30日 = 270,000

通商輸送費

100,000

航空運賃

260,000 x 9名 = 2340,000  
 合計

外貨 4,201,600

輸送費

50,000

交通費

29900 x 9名 = 251,100 )  
 + 450,000 ) 701,100

準備費

7 x 15000, 2 x 378000 + 2 x 40000 574000 ) 300,000

食糧費

10,000

保管費

20,000

相違費

40,000

査証費

80,000

雑費

100,000

105

1,381,100

合計

5,542,700

予算改訂

外貨

交通費 1,360,000  
 人件費 1,200,000  
 都市滞在費 340,000  
 食費 300,000  
 通関輸送費 320,000  
 小計 3,520,000

内貨

輸送費 376,000  
 交通費 1,680,000  
 宿泊費 500,000  
 食料費 50,000  
 医薬料費 50,000  
 梱包費 40,000  
 査証費 100,000  
 保険費 160,000  
 手数料 100,000  
 小計 3,016,000

総計 6,536,000

東京-オマース 1向 498.30 トル  
 147,500円  
 2A 4% 4F, 20% 係数 % 4F

エア-サイラム 経費 21万

公費補助金 170万 北海道 600,000  
 札幌市 300,000  
 大学校費 1250,000  
 一般寄付金 200万 全札幌人 2100,000  
 現物寄付 200,000  
 隊員負担金 139,250

Sherpa 2名 17M x 30A x 3月 x 2名 x 30円 = 91,800  
 Ketchin 2名 15R x 30日 x 3月 x 2名 x 70円 = 81,000  
 Porter 15名 15R x 40日 x 15名 x 70円 = 270,000  
 442,800  
 450,000

都市滞在費

卸店代 2卸店 200R x 30日 x 30円 = 18,000  
 プトマンス 20R x 30日 x 2名 x 10名 x 30円 = 180,000  
 198,000  
 200,000

食費 キヤバシ中

10R x 60日 x 12名 x 30円 = 216,000  
 220,000

通関輸送費

320,000

航空運賃

160,000 x 8 = 1280,000  
 (120,000 x 8) 960,000  
 車4台-9-代 50,000

外貨

計 2520,000  
 (航空運賃 サイラムの場合) 2200,000

輸送費

交通費 336,000  
 交通費 1680,000  
 宿泊費 160,000  
 食料費 40,000  
 梱包費 100,000  
 査証費 100,000  
 保険費 160,000  
 手数料 200,000  
 内貨 2776,000  
 (航空運賃 サイラムの場合) 2456,000

529,6000

(サイラム) 19656,000



6536000

公費補助金

北海道 600,000  
札幌市 300,000  
大学 1100,000

- 附帯借金 2736,000

隊員負担金

1,800,000

行動予定

- 8月10日 カニノエ着  
カニノエ滞在 各種準備、倉地内狩集
- 8月7日  
8月8日 Kathmandu - Godavari (1450m)  
10日  
18日 Godavari - Kathmandu
- 20日 Kathmandu - Kuinibisona (1890m)  
5日  
25日 Kuinibisona - Kathmandu  
倉地内狩集
- 9月1日 Kathmandu - Trisuli - Betrawate (2700m)  
3日  
4日 Betrawate - Bonnuwa (2100m) - Ranche (1620m)  
3日  
7日 Ranche - Bokajunda (2000m)  
8日 Bokajunda - Dunche (3000m)  
5日  
13日 Dunche - Shingomba (3200m)  
5日  
18日 Shingomba - Gosainkund (4200m)  
3日  
21日 Gosainkund - 峠下狩集  
3日  
27日 Tale Pati - Khurumsan (2500m)  
5日  
10月 2日 Khurumsan - Patibanjari (1820m)  
3日 Patibanjari - Kathmandu
- 6日 Kathmandu - Adhabar (3000m)  
3日  
11日 Adhabar - Siwali (727) 峠  
3日
- 39日  
24日 再狩 → Tale Pati (2530m)

No.   
 14日 Siwahle → 小寺  
 17日 小寺 - Katsunader

採集用具

rat trap (metal)	50
mouse trap (museum special)	30
" (oherman)	30
mole trap	2
weasel trap	2
seed of squash	500g
oatmeal	500g
peanut butter	2 bottle
paper tape	20
single tape	10
gloves	5
brush (7")	1
mist net	3

標本製作用具

label	小 400
	中 200
	大 50
ハサミ	大 2
	小 2
ハシ 200g	1
モリヤン 30cm	1
2cm	1
セシセト	大 1
	小 2
spring balance	1
stapler	1
staple	2 box
preservative (borax)	500g
plastic bottle	大 1
formalin	500cc
chloroform	100cc
glass tube	小 100
desiccative (silicagel)	500g

envelope	小50	
	大50	
polyethylene bag	大100	
	小100	
	特大50	
針	1	
糸	1	
insect repellent	1	

Camp	用舟	
	sleeping bag	1
	air mat	1
	折たたみイス	1
	Head lamp	1

衣類等の他

フジージャケット	4
パンツ	4
長袖巾着 (薄2層1)	3
シャツ	1
ジャンパー	1
長ズボン	2
スウェー	3
雨かつぽ	1
ゴム長靴	1
登山靴	1
靴下	5

その他

カミソリセット	1
ハシカキ	1
Trek paper	2

器具

Olympus OM-1	50mm L:2"	1
"	(body)	1
L:2"	200mm	1
	600mm	1
speed light		1
白電フイルム		30
カラー		30
乾電池	U-1	18
	U-3	20
tripod		1

岳陽平算

④	航空運賃 Air India 248 × 8 = 192万10	192
	荷物10人 50kg 5人 30kg 3人 5kg	
	1人 20kg + 10kg = 30kg 7人 free	
	10人超運合 (50kg - 30kg) × 5人 = 100kg	
	共計 (7人 21kg, 2人 30kg, 2人 5kg) 100kg	200kg
内	超運料金 1kg 200kg × 2000円 = 400,000	40
外	積 共同整備手用 - 29分対車名	40
外	Shirpa 20 <sup>9</sup> × 30 <sup>9</sup> × 3 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> = 76,500	89
	Kitchen 15 <sup>9</sup> × 30 × 3 × 2 <sup>9</sup> × 1 = 33,750	4
	Porter 15 <sup>9</sup> × 10 <sup>9</sup> × 40 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 1 <sup>9</sup> = 150,000	15
外	Shirpa 20 <sup>9</sup> × 30 <sup>9</sup> × 3 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 2 = 76,500	89
	Kitchen 15 × 30 × 3 × 2 <sup>9</sup> × 1 = 33,750	4
外	Porter 15 × 40 × 2 <sup>9</sup> × 6 <sup>9</sup> = 90,000	9
	都府滞り費 120 × 2 <sup>9</sup> × 20 <sup>9</sup> × 35 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 10 <sup>9</sup> = 125,000	15
外	2 <sup>9</sup> 滞り 100 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 40 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 10 <sup>9</sup> = 25,000	2
	食費 (4+3人) 15 <sup>9</sup> × 5 <sup>9</sup> × 2 <sup>9</sup> × 14 <sup>9</sup> = 26,750	27
	車4人 - 2 - 1代	5
	国内輸送費	10
	手証費	10
	保証費	16
	通運費 (10日片送)	16
内	雑 (10日)	20
外	雑 (10日)	10
	送附費	10
	ハチ27	35

$10000 \times 8\% = 8000$

外貨 55 180 10貨 304万10 459万25

460万1012 6月4日現在収入見込 25万 (正確) 225万 (正確)  
 480 - 235 = 245万10... 10人負担 春本10日 (他 30.8万10)  
 440 - 255 = 185 " " " 他 27.8

外貨を170万と仮定し合計 + 15万 35万  
 475万 " " 他 32.8万  
 " " " 他 30.0

河原輝彦 1975 リタ-9分解117.2. II 2種投9落華混合の  
 分解適合性及び77算答 日七誌会誌. 25(2): 91-96

By Ingrid Weigel

Mammals (Rodents & Insectivora) of Nepal

*Talpa micrura* ~ 3000 m

*Sorex cylindricauda*. NE Nepal. 3700 - 4500 m

*Soriculus nigrescens*

*S. caudatus*

*S. leucops*

*S. bairdii* (= *S. gruberi*)

*Suncus murinus*

*S. etruscus*

*Crocidura borasfieldi* Kashmir, Ladakh.

*C. attenuata* Assam, Bhutan, Sikkim, Kumaon -

*Chimarrogale platycephala*

*Nectogale elegans* Sikkim, Bhutan

*Tupaia glis* Darjeeling, Bhutan, Duars

*Petaurista elegans* Assam, Sikkim, Nepal

*P. magnificus* 2000 - 3700 m

*P. petamista*

*Blomys pearsoni*

*Hylomys albioniger*

*Callosciurus pygerythrus*

*C. erythraeus*

*Tamias maclellandi*

*Dremomys lokeriai*

*Funambulus pennanti*

*Ratufa bicolor*

*Marmota bobak*

*Hyetrix leucura*

*Acanthion hodgsoni*

*Cannomys badius*

*Vandeleuria olivacea*

*Apodemus zurbha*

*Rattus mullata*

*R. rattus*

*R. nitidus*



No.

- Rattus rattoides*
- R. norvegicus*
- R. miriventer*
- R. eha*
- R. fluscens*
- Mus musculus*
- M. cervicolor*
- M. bodaza*
- M. platythrix*
- Golunda ellioti*
- Bandicota bengalensis*
- B. indica*
- Nesokia indica*
- Tatra indica*
- Attila stoliczkanus*
- Pitymys sihimensis*

LUCKY

M 〒603-8148 京都市北区小山西花池町1-8 日本生態学会内PDM

THE ECOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN  
1-8, Nishihankei, Koyama, Kita, Kyoto, 603-8148 Japan

〒603-8148 京都市北区小山西花池町1-8  
TEL & FAX 075-384-0230

### 日本生態学会

日本生態学会  
京都府京都市北区小山西花池町1-8  
〒603-8148  
TEL & FAX 075-384-0230

生 委員番号: 00003 1部

阿部 永 様

小幡市桂原町26-17

047-0264

隊員

- 辻井達一 北大農学部付属植物園・森林植物  
阿部 永 北大農学部応用動物学教室・哺乳類  
高木貞夫 北大農学部昆虫学教室・昆虫  
神谷晴夫 北大獣医学部寄生虫学教室・寄生虫  
中塚賀常雄 北大農学部林学科・森林生態  
樋口弘道 白鷗短期大学・昆虫・蝶  
春木雅寛 北大農学部林学科・森林植物  
古後利道 字画家